

星野一義氏が率いるインパルが、久々のコンプリートモデルを発表した。それがこの112Sだ。インパル流の数字を冠したこのモデルは、一体どんな世界を見せてくれるのか？

■文：橋本洋平 ■写真：井上雅行



IMPUL 112S

NOTE E12 HI-POWER TUNE-UP SYSTEM

見た目のインパクトに 負けない走りをゲット!



**コンプリート化で
中身までインパクト大**

本誌読者にはすでにお馴染みとなっているインパルのチューニングカーは、そのいづれもが見た目のインパクト強烈! アグレッシブなスタイルは、いやや一目で「インパル」だと理解できる統一感がある。そのスタイルに惚れてユーザーとなっている方々も多いだろう。

今回発表されたこの112Sも、前後左右に備えられた独特なエアロパーツのデザインは、インパルのデモカーであることが一目瞭然。だが、これまで以上に統一感があるように映るのは気のせいかな?

実際のところを担当者に伺ってみると「112Sはコンプリートカーなんですよ」という答えが。つまりこれまでのようにパーツ単品を組み合わせてインパル仕様に仕立てるのではなく、初めからこの状態で新車販売を目論んでいるというのだ。だからこそ色彩から見え隠れしているブレーキや足まわりまで随所に統一感がより一層生まれ、独特のオーラを発していたのだ。早速その中身を探ってみると、ノートのウリであるエコスーパーチャージャーにまで手が入れられているところが驚き。プー

REPORT

橋本洋平

◀夏になった瞬間、仕事そっちのけで(?)レース三昧の生活を送るアラフォー走り屋。いまだF1を目指し速さを追及するその姿勢はいいが、原稿のスピードも高めてもらいたいところである



リー径を変更することで、ブーストは0・5キロから0・7キロへとアップ。さらにそれに合わせてコンピュータからスロットルバルブまで変更しているという。ここまで手が込んだことができるのも、コンプリートカーならではの世界だろう。それに合わせてフットワーク系も万全の体制。足はオリリンズベースの車高調が奢られ、さらに前後タワーバー&ブレースバー、そしてリアバンパー内にもブレースバーを盛り込むという徹底ぶり。また、フロントブレーキには対向6ポットキャリ

EXTERIOR

エクステリア

迫力のある見た目を演出する
斬新なデザインのエアロキットが魅力



▲低くドッシリと構えたエアロデザインによって、コンパクトカーとは思えない存在感を生み出している112S。開口部の塗り分けや赤いラインの入れ方などが絶妙だ



▲アルミホイールはMATデューラー製法で軽量高剛性を実現した「Racing AU x 6・5 J+40」で、サイズは17インチ。ブラック/ポリッシュ



▲パーツ単体の販売では存在しなかったカーボンドアミラーカバーが目新しい。リアスポイラーは単品販売のものと変わらないが、レッドラインを与えることでスポーティな演出に。フロントフェンダー上部にはスポーツダクトを装着。こうした細部の仕上げがコンプリートカーらしい演出に繋がっている



▲アクの強い特徴的なフロントバンパースポイラー、フロントグリル、サイドステップ、リアハーフスポイラーは、すでにパーツ販売されているエアロパーツと同様のデザイン。だが、色使いの変更やステッカーを装着することで斬新なスタイルを生み出すことに成功している

気分を良くして高速を走ってみると、今度は盛り上がりを見せるエンジンパワーとともに、ビートの聞いたマフラーサウンドが「煽って」くるから面白い。回せば回すほどグイグイと力強さを増すパワーフィールとサウンドは、乗り手の気分を盛り上げてくれる。ちょっとヤンチャに感じさせるそのテイストは、

まさに「クセになりそう」だ。フットワークも実に刺激的。初期操舵からキビキビとクルマ全体が反応するセッティングは、まるでカティストのノーマルとは雲泥の差を感じるスポーティな感覚。やっぱりホットハッチはこうでなくちゃ！なんてニッコリできる仕上がりだ。

それだけでなく、どこまでも踏ん張ってくれる懐の深さもある。ヤンチャそうに見えるけど、最後はシッカリ。イザとなればきちんと止まるブレーキもあり、誰もが安心して楽しめるようにセッティングされているあたりは、インパルの名にふさわしい。パワーアップだけでなく、それを受け止めるシャシもしっかり造り込んであるあたりは、さすがはコンプリートカーだ。

結果的に車両価格は新車価格＋約150万円程度ということだが、ここまで大变身するならリーズナブル。そう思う人が多いらしく、すでに60台のバックオーダーを抱えているという。

この112Sはエコばかりで個性派が少なくなってしまう現代のコンパクト界に、一石を投じる一台。人とは違うインパクトあるクルマに乗りたい、という人にオススメしたいコンプリートカーだ。

まさに「クセになりそう」だ。フットワークも実に刺激的。初期操舵からキビキビとクルマ全体が反応するセッティングは、まるでカティストのノーマルとは雲泥の差を感じるスポーティな感覚。やっぱりホットハッチはこうでなくちゃ！なんてニッコリできる仕上がりだ。

それだけでなく、どこまでも踏ん張ってくれる懐の深さもある。ヤンチャそうに見えるけど、最後はシッカリ。イザとなればきちんと止まるブレーキもあり、誰もが安心して楽しめるようにセッティングされているあたりは、インパルの名にふさわしい。パワーアップだけでなく、それを受け止めるシャシもしっかり造り込んであるあたりは、さすがはコンプリートカーだ。

結果的に車両価格は新車価格＋約150万円程度ということだが、ここまで大变身するならリーズナブル。そう思う人が多いらしく、すでに60台のバックオーダーを抱えているという。

2Lスポーツをカモれるホットハッチ



POWERTRAIN

パワートレイン

S/Cをブーストアップしてモアパワーをゲット

◀エンジン本体はノーマルながら、右記のようなアイテムを装着したことでパワーアップに成功したパワーユニットは、高回転へと盛り上がる感覚に優れている。速さばかりでなく体感的にも痛快なパワーユニットだ



◀スリーパーチャージャーのブリーザー径を変更することでブリスト圧は0.5から0.7キロにアップしている

◀▶アイドリングストップからの復帰時に重低音を生み出すオールステンレスのプラストIIマフラー。だが、高回転までエンジンを回して行くと、心地の良いビートを感じさせてくれるところがイイ



◀コンピュータとパワースロットルバルブは112Sの仕様に合わせてリセッティングを行っている

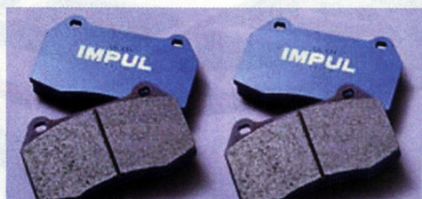
FOOTWORK

フットワーク

シャシ系の強化で軽快なハンドリングを実現



▲オーリンズベースの車高調は、ノーマルから30ミリダウンの位置にセット。減衰力は20段階調整



▲初期制動からの立ち上がりマイルドで扱いやすいブレーキパッドは、コントロール性が抜群だ



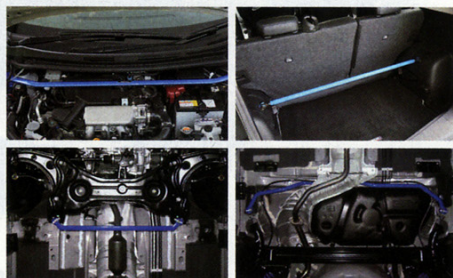
▲フロントに備えられた6ボットキャリパーには、ステンメッシュホールもセットで装着される。これにより剛性感の高いペダルタッチを実現している

■ IMPUL 112S コンプリート主要装備リスト

【エアロパーツ&エクステリア】●フロントバンパー ●フロントグリル ●サイドステップ ●リアハーフスポイラー ●リアウイング(112S専用色グレーメタリック×レッド) ●フェンダーダクト(112S専用色グレーメタリック) ●カーボンミラーカバー(112S専用色カーボン×レッド) ●サイドストライプ ●112Sロゴステッカー ●エンブレムEC-02(IMPULロゴタイプ) ●イルミネーションエンブレム(オプション) ●エアロサイドバイザー(オプション) 【コンピュータ&エンジン系】●ハイパワーコントロールユニット(112S専用プログラム) ●ハイパワーブリーキット ●パワースロットルバルブ ●インタークーラーダクト 【排気系】●プラストIIマフラー(オールステンレス製) 【ボディ補強】●ストラットタワーバー・フロント ●ストラットタワーバー・リア(New) ●パフォーマンスブレース・フロント ●パフォーマンスブレース・リア ●パフォーマンスブレース・リアクロスバー(New) 【足まわり】●インバル オーリンズ・スーパーショック 【ブレーキ】●ブレーキシステム(112S専用色レッドキャリパー) 【ホイール&タイヤ】●レーシングアウラ SR-08:(6.5J×17+40・ブラック/ポリッシュリム) 【ランプ系】●インバル ペロフ・H.I.D.コンバージョンキット BMA1323(オプション) ●インバル ペロフ・フォグラмп用 LEDコンバージョンバルブ IMR-02(オプション)

■ IMPUL 112S 予定価格：

ベース車(ノート メダリスト)+150万円程度



◀フロントからリアまであらゆるところに奢られた補強パーツによって、クルマ全体に一体感が生まれてきた。タイヤや足だけでなく、根幹となるボディにもメスを入れるあたりがコンプリートカーらしさ

▶見た目の安定感以上にビシッと走る112S。パワーアップ、フットワークも強化したことで速さは増したが、不安は一切ない

